

あさひ小学校 防災教育

平成29年9月5日(火)、鶴岡市立あさひ小学校で土砂災害防災教育を行いました。

土砂災害の種類や特徴、どんな場所が危険なのかなど、模型実験装置を使用しながら説明すると、児童たちは身を乗り出して熱心に聞いていました。

また、土砂災害から身を守るための行動を学ぶ実習では、それぞれ自分なりに考え、積極的に発言する様子から、土砂災害や防災について関心をもって学んでもらえたようです。

土石流模型で学習



がけ崩れ模型で学習



がけ崩れで
家がなくな
った!

地すべり模型で学習



この棒(アンカー)
抜いたら地面が
すべっちゃうよ!

警報の順番
どっちが先かな



砂防ダムは
何でできて
いるの?

コンクリートで
できているんだよ

防災カードで実習



災害対応カードで実習
(八木教授)



災害対応カードで実習
(村山教授)



最上川・赤川水系
砂防ボランティア協
会の方々と実習す
る低学年の児童た
ちは、災害のときは
どうしたらいいのか、
動物の行動にまね
て覚えていました。



山形大学の八木教授と村山教授と実習する
中・高学年の児童たち。
児童たちは元気に手をあげて自分の
意見を出していました。

赤川砂防出張所からのお知らせ